

The Lung

神戸大学大学院医学研究科
呼吸器内科学

第1巻 第4号

発行:650-0017神戸市中央区楠町7-5-1
神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科
TEL:(078)382-5846 FAX:(078)382-5859
<http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html>

新年のごあいさつ

准教授 西村 善博



新春とは申しながらまだ厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年3月11日に東日本大震災があり未曾有の災害となりました。あの時の光景は未だに昨日のように蘇ります。原発事故の後遺症もまだまだ未解決な部分も多く、復旧、復興への道のりは遠いと思われませんが、この悲しみを心に刻みいつまでも助け合いの精神を忘れずにいたいものです。

昨年は5月8日に「呼吸の日(5月9日)」を記念した日本呼吸器学会近畿支部主催の市民公開講座を開催させて頂きました。本年は12月15日(土)に神戸国際会議場において日本呼吸器学会近畿地方会を開催させて頂くことになっております。まだ、企画段階ですが、是非皆さんの演題登録およびご参加を是非お願いしたいと存じます。

また、兵庫県喘息死ゼロ作戦は多くの同窓会OB

の先生方のお力添えによりプロジェクトが順調に進んでおります。下記講演会も企画しており、多くの先生方のご参加をお願いしたいと存じます。何卒よろしく御願いたします。

兵庫県喘息死ゼロ作戦講演会

日時:平成24年3月3日(土)午後5時より

場所:兵庫県医師会館大会議室

さて、今回お届けするThe Lungは第4号となります。2011年呼吸器内科診療実績のまとめを船田泰弘病棟医長(H7年卒)よりお知らせいたします。また、入院等の窓口が笠井大介特命助教(H10年卒)に変わりましたので、その紹介と、現在の研究グループ紹介を中堅医師よりさせて頂きたいと存じます。

まだまだ寒さ厳しいですが、くれぐれもご自愛ください。本年もどうぞよろしく御願いたします。

目次:

ごあいさつ	1
診療実績報告	1
新入退院係より	1
呼吸器内科の研究グループ紹介	2
医局員集合写真	2

診療実績報告

助教 船田泰弘

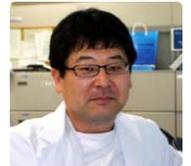


今年度から小谷義一先生より病棟医長を引継ぎました。

今年度は笠井大介先生、立原素子先生の新オーベン体制で病棟メンバーほぼ総入れ替え(指導医石川先生、日下部先生、徳永先生)でのスタートとなりました。1年目1.5ヶ月、2年目2-3ヶ月ごとのローテーションで研修医を常時4-6名受け入れつつ、12月末までのところ平均病床稼働率110%以上(病床数26床)、平均在院日数約11日、気管支鏡、PSGなどの検査入院が130件以上と例年以上の数字となっております。入院患者の疾患内訳は8割以上が胸部悪性疾患、2割弱が非癌疾患(肺炎・間質性肺炎など)ですが、週替わりのレクチャーや症例検討会を通じて限られた研修期間ながら基本的な呼吸器疾患への対応についても学べるように工夫しています。今後は外来化学療法を増やすなど病棟スタッフの負担を減らしつつより多様な疾患の入院にも対応できる体制にしていきたいと考えております。

入退院係が変わりました

特命助教 笠井大介



このたび入退院係となりました笠井です。

先生方もご存知の通り今日では肺癌は癌死の第一位を占める疾患となりました。そのため当院におきましても常時入院患者の約8-9割程度が肺癌患者で占められております。呼吸器内科である以上本来は肺癌以外の疾患を幅広く診療するべきであると考える反面、肺癌の集学的治療ができる施設が限られている兵庫県におきましては、現実的にある程度仕方のない病床運用ではないかとも思われます。

患者数に比して病床数に余裕が無いため常時満床に近い状態となっております。先生方にご迷惑をおかけする点多々あるかと存じますが、今後ともよろしくお願いいたします。



呼吸器内科・研究グループ紹介



肺癌グループ

肺癌グループでは主に大学院生の研究基盤としての基礎研究を行っています。現在、主に非小細胞肺癌に対する抗癌剤併用による相乗効果に関する研究を行っています。臨床では肺癌診療における問題点を様々な角度から検討し、グループ内での議論を踏まえてスタッフにフィードバックしています。また、多施設臨床研究へ積極的に参加できるような診療のサポート体制も整えています。気管支鏡検査においては新しいデバイス（EBUS、BF-NAVI）の導入や新たな臨床試験立ち上げへの模索も行っています。肺癌のことなら何でもご相談ください。

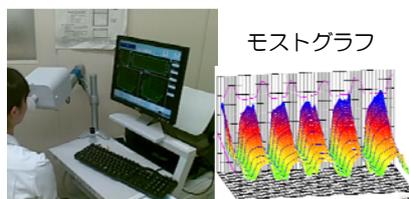
田村大介（H15年卒）

COPD・喘息グループ

COPD・喘息グループは5人からなる小グループですが、それぞれが臨床研究、基礎研究に取り組んでいます。現在グループ員の1人がカナダ留学中です。

《主な研究テーマ》

- ① 喘息モデルマウスにおけるS1Pの反応性
- ② COPDの疫学調査
- ③ ADCTを用いた気道計測と呼吸抵抗（モストグラフ）の関連
- ④ 禁煙による呼吸抵抗の変化



新家治子（H15年卒）

睡眠呼吸障害グループ

本年度より睡眠センターが設立されるにあたって、下記課題を掲げて研究を開始しています。

- ① 慢性心不全合併睡眠呼吸障害に対するASV治療の心機能に対する効果
- ② 循環器疾患における睡眠呼吸障害のスクリーニング
- ③ Sleep RecorderのCSASに対する有用性の検討
- ④ CPAP治療患者のコンプライアンス・予後調査

①②は循環器内科との共同研究で、循環器内科医と呼吸器内科医、帝人研究員からなる睡眠呼吸障害カンファレンスを定期的に行い、検討を続けています。

樋木暢子（H14年卒）

The Lung

神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学

電話 078(382)5846

FAX 078(382)5859

Email: <http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html>

肺がんから「せき」「息切れ」まで
何でもご相談下さい！

